

富士茶の父逝去



高橋広作さんを市長表彰

「富士茶の父」東比奈二丁目高橋広作さん(85)が三月十四日老衰のため逝去されました。市ではその功勞に対し、農業振興功勞者として「市長表彰例」により、市長表彰をすることに決めました。高橋さんは、明治二十四年(一八九一年)から茶業に従事してきましたが、富士茶の市場での悪評に刺戟され、茶の品種改良新品種の育成に力をそそいできました。昭和十三年に高橋早生富士一号の優良品種をつくることに成功し、富士茶の生産をおいにかめ、岳南地区の茶業界の発展につくしてきましました。

養豚は私たちの手で……

次郎長婦人部
「養豚は私たちの手で……」大淵次郎長町の主婦たちは昭和三十九年に養豚婦人部(鈴木なつ部長、五六)を結成し、いまでは農家所得の五〇%を占める実績をあげています。次郎長町の戸数は五〇戸で、全国有数の山林種

苗地として、スギヤヒノキの苗づくりを行なつて

います。しかし、苗づくりは非常に地力が必要で、地力の回復と副業という一石二鳥をねらい三五戸が小労力ですむ養豚を昭和三十六年から始めたものです。副業としての養豚をまかせられた主婦は、月に一回農業普及員の指導を受け、豚のことならなんでもというほどの技術を身につけています。昨年大淵地区に豚コレラが発生したときも、次郎長町では一頭もコレラにかかりませんでした。親のなむずかしいといわれていた子豚をそだてたのは、さすがに鈴木なつ部長は八頭の子豚を人工授乳で元気にそだてました。婦人部では育児や料理の講習会も行ない、生活改善は自分たちの手でと大張り切りです。

市民文化の向上をはかるため、市では文芸春秋と共催で、次の方々を講師に招き、文化講演会を行ないます。

日時 四月十一日(日) 午後五時三十分開場
場所 市民会館大ホール
講師 丹羽文雄(作家) 横山隆一(漫画家) 柴田練三郎(作家)
入場料は無料です。ただし、入場者多数のばあいは先着順です。

文化講演会のお知らせ

市民文化の向上をはかるため、市では文芸春秋と共催で、次の方々を講師に招き、文化講演会を行ないます。

日時 四月十一日(日) 午後五時三十分開場
場所 市民会館大ホール
講師 丹羽文雄(作家) 横山隆一(漫画家) 柴田練三郎(作家)
入場料は無料です。ただし、入場者多数のばあいは先着順です。

市役所

議会の巻

市議会は、市民の代表三十六名(現在欠員二名のため三十四名)の議員により、市の重要事項を決める議決機関ですが、この機関の事務処理にあたるのが議事事務局です。山本政雄局長以下八名の職員から構成され、議員から構成され、議員の調査、調査係、庶務係の三係に分かれています。

新入学児童を守ろう

四月、五月になると、こどもの交通事故が急増多くなります。こどもの交通事故の中でも小学生の事故が約五〇%を占め、とくに低学年の児童に多くなっています。新入学、新入学期をひかえ、かわいいこどもたちを交通事故から守るために、家庭でのしつけは、おのれ、一般のひとにもこどもたちにはよく注意し、恐いし、恐いし、交通安全を守つてやります。交通安全を守つてやります。



みんなで事故からまもりましょう



農業普及員から技術講習を受ける主婦たち=次郎長町で=

野鳥を保護しよう

さいきん、農業の害や乱獲などで野鳥がへつていっています。このため、市林産課では、野鳥の保護に力をいれ、とくに三月から六月にかけての繁殖期にあたり、捕獲するものを厳重にとりしめています。野鳥を保護するために、市民のみならず、協力をお願いします。また、捕獲許可申請の受け付けは中止しています。

百日咳ジフテリア予防接種

衛生課では、百日咳、ジフテリアの混合予防接種を次のとおり行ないます。このため、市林産課では、野鳥の保護に力をいれ、とくに三月から六月にかけての繁殖期にあたり、捕獲するものを厳重にとりしめています。野鳥を保護するために、市民のみならず、協力をお願いします。また、捕獲許可申請の受け付けは中止しています。

苦情は行政相談員へ

みなさんが国の行政機関、公社、公庫、公団などの仕事や国から委任をうけて県や市が行なっている行政に対して、苦情をお持ちの方は「行政相談員」にご相談ください。吉原市では、今泉春枝さん(市場町)が行政官理庁から委嘱されてこの仕事にあたっています。行政のことはなんでもご相談ください。

狂犬病の予防注射

衛生課では、昭和四十一年度の犬の登録と狂犬病の予防注射を次のとおり行ないます。四月四日(須津支所) 四月五日(吉水支所) 四月六日(原田支所) 四月七日(今泉小学校) 四月八日(鈴木公会堂) 四月九日(東小) 四月十日(神戸小学校) 四月十一日(吉水第二小学校) 四月十二日(大淵支所) 四月十三日(八王子子集会所) 四月十四日(法蔵寺) 四月十五日(国羅公民館) 四月十六日(田中公会堂) 四月十七日(市立体育館) 四月十八日(市立体育館) 四月十九日(市民会館) 四月二十日(市民会館) 四月二十一日(市民会館) 四月二十二日(市民会館) 四月二十三日(市民会館) 四月二十四日(市民会館) 四月二十五日(市民会館) 四月二十六日(市民会館) 四月二十七日(市民会館) 四月二十八日(市民会館) 四月二十九日(市民会館) 四月三十日(市民会館)

市民会館だより

つき二百円 ※犬の手帳をおもちください。第三回吉原市婦人大会 四月一日、午前九時から四時まで。大ホール。市立商業高校入学式 四月六日、午前八時三十分から十二時まで。大ホール。救急業務講習会 四月九日、十二日、十三日、十四日、午前九時から十二時まで。第三集会所。労働者四月例会 四月十五日、二十日、午後六時から十時まで。大ホール。明治大学マンドリン演奏会 四月二十日、午後一時から。大ホール。四月十日は市民会館の休館日です。

年金だより

そのほか、第二次大戦を境にしてわが国の人口構造がアツというま変わりになりました。国民の職場も生活も、日ましにきびしくなつてゆく日本経済のなかで、老人が若い人々に背負いきれない扶養の義務を負わせるかわりに、まがりなりにも自分の生活を支えてゆくみちを、ハツキリとつくり出してあげることです。このことは身体障害者や母子家庭のばあいも同じでしょう。こうしたことから、いままで公的年金にはいれなかつた人々を温かく抱えこもうと、設けられたのが国民年金制度です(以下次号)

前号で述べた公的年金制度のなかでは、国民年金が一番新しく、それまでは厚生年金保険などの官公庁や会社、工場などに勤める従業員を対象とした年金制度があるばかりで、国民の大半をしめる農林漁業の従事者、中小企業や自由業などの自営業者や、そこで働く人などは、なんらの年金制度の恩恵も受けられず、取り残されたままになっていました。ところが、このような人たちこそ、老後の生活や不測の事故に対する不安が強く、戦後の急激な寿命の伸びとともに、なお一層、年金制度による保障の必要性が強く要望されるわけです。